

将来についてのエホバの約束 どうすれば信仰を強められるか

「[エホバ]は何かを言ったら、それを行うのではないか」。民数記 23:19

142 番の歌 希望をしっかりと持ち続ける

何を学ぶか*多くの人たちは新しい世界についての聖書の約束を信じていません。「夢みたいな話だ」とか、「ただの理想にすぎない」と思うのかもしれませんが。一方、私たちはエホバの約束が全てその通りになると確信しています。それでも、信仰を強めていく必要があります。そのためにどんなことができるでしょうか。考えてみましょう。

1-2. 新しい世界が実現するまでの間、どんなことをする必要がありますか。

エホバは、この邪悪な体制を終わらせて、正しいことが行き渡る新しい世界に変えると約束しています。（ペテ二 3:13 しかし、私たちが神の約束によって待ち望んでいる、新しい天と新しい地があります。そこには正しいことが行き渡ります）私たちはその時を心から楽しみにしています。それがいつ実現するのかについては知りませんが、世界の出来事を考えると、その時が近いということが分かります。（マタ 24:32-34 イチジクの木の場合から学びなさい。若枝が柔らかくなって葉を出すと、すぐに、夏が近いことが分かります。33 同じように、これら全てを見たら、人の子が近づいて戸口にいることを知りなさい。34 はっきり言いますが、これら全てが起きるまで、この世代は決して過ぎ去りません、36 その日と時刻については誰も知りません。天使たちも子も知らず、父だけが知っています。使徒 1:7 イエスは言った。「天の父の権限で定められた時や時期について、あなたたちが知る必要はありません」)

2 とはいえ、どれほど長くエホバに仕えてきたかに関わりなく、私たち全てはエホバの約束がその通りになるという信仰を強める必要があります。信仰は弱くなってしまうことがあるからです。パウロは、この危険な状態を「すぐに絡み付く罪」と呼びました。（ヘブ 12:1 それで、これほど大勢の(*大きな雲のような)証人たちに囲まれているのですから、私たちもあらゆる重荷と、すぐに絡み付く罪を捨て、参加している競走を忍耐して走りましょう) ですから、信仰が弱くならないようにするために、新しい世界がもうすぐ実現すると言える根拠についてよく考える必要があります。（ヘブ 11:1 信仰とは、望んでいる事柄が実現するという確信(*保証)であり、目に見えないものが実在するというはっきりとした(*納得のいく)証拠を持っていることです(*証拠です)）

3. この記事ではどんなことを考えますか。

3 では、どうすればこのエホバの約束に対する確信を強められるでしょうか。この記事では3つの点を考えます。(1) 贖いについてじっくり考えること、(2) エホバの力について思い巡らすこと、(3) エホバとの絆を強めるために時間を使うことです。さらに、エホバがハバククに語った言葉が私たちの信仰を強める上でどのように助けになるかも学びます。でもまずは、新しい世界が実現するという強い信仰がどんな場面で必要になるか、考えてみましょう。

どんな時に強い信仰が必要になるか

4. どんな決定をする時に、強い信仰が必要ですか。

4 **毎日のいろいろな決定**をする時に、**強い信仰**が必要になります。例えば、**誰と友達になるか**、**自由な時間にどんなものを楽しむか**、**どんな教育を受けるか**、**どんな仕事に就くか**、といったことを決める必要があります。また、**結婚するか**や**子供を持つか**についても決めなければいけないかもしれません。次のように自問してみましょう。「**自分の決定**には、**今の世界がもうすぐ終わり**、**新しい世界が来ると信じている**ことが**表れている**だろうか。それとも、**死んだら全てが終わる**と考えている人たちの**影響を受けて**しまっているだろうか」。(マタ 6:19, 20 **自分のために地上に宝を蓄えるのをやめなさい**。そこでは蛾やさびがむしばみ、泥棒が入って盗みます。20 むしろ、自分のために**天に宝を蓄えなさい**。そこでは蛾やさびがむしばんだり、泥棒が入って盗んだりすることはありません。ルカ 12:16-21)そして次のような例えを話した。「ある裕福な人の土地で作物が豊かに実りました。17 そこでその人は心の中で考え始めました。『どうしようか。作物を集める場所がない』。18 その人は言いました。『こうしよう。**倉を取り壊して、もっと大きいのを建て、そこに穀物などを全て集めるのだ**。19 そして自分に言おう。「おまえはたくさん**の良い物を何年分も蓄えることができた。楽にして、食べて、飲んで、楽しめ**』。20 しかし神は言いました。『**無分別な者よ、今夜、あなたの命は取り上げられる。そうしたら、蓄えた物は誰のものになるのか**』。21 **自分のために宝を蓄えても、神から見て裕福でない人はこうなるのです**」) **新しい世界がもうすぐ実現**するという**強い確信**があるなら、**良い決定**ができるでしょう。

5-6. 難しい問題を経験している時に強い信仰が必要なのはどうしてですか。

5 **難しい問題にぶつかる時**にも、強い信仰が必要になります。**迫害**されたり、**重い病気**になったり、**がっかりさせられるような問題を経験**したりすることもあります。**初めのうち**は、**強い気持ちで立ち向かう**ことができるかもしれません。でも、こうした**問題は長く続く**ことが**多い**ので、**喜んでエホバに仕えていくためには強い信仰が必要**です。(ロマ 12:12 **希望によって喜びましょう。苦難に遭っても忍耐しましょう。粘り強く祈りましょう**。ペテ 1:6, 7 **こうしたことを皆さんはとても喜んでいます。しかし、やむを得ないこととして、少しの間さまざまな試練に悩まされてきました。7 そのようにして皆さんの信仰の質は試されます。試された信仰は、火によって試された(*精錬された)金よりもはるかに価値があります。金は試された(*精錬された)ものであっても滅びるからです。そうした信仰を示すなら、皆さんは、イエス・キリストが明らかにされる時に、賛美と栄光と栄誉を受けられます**)

6 **難しい問題を経験している時**には、**新しい世界がすぐには来ない**ように思える**かもしれない**。それは、信仰が弱いということでしょうか。必ずしもそうではありません。例えで考えてみましょう。**厳しい冬のさなか**には、**夏が遠い先**のことのように**感じる**かもしれない。でも、**夏は必ずやって来ます**。同じように、**ひどくがっかり**している時には、**新しい世界が遠い先**のことのように**感じる**かもしれませんが、**強い信仰があるなら、エホバの約束は必ず実現すると考える**ことができます。(詩 94:3 **いつまで悪人は、エホバ、いつまで悪人は勝ち誇るのですか**、14, 15 **エホバはご自分の民を見捨てない。ご自分の財産である人々を捨てない**。15 **再び正しい裁きが行われるようになる。心の正直な人は皆それに従う**。ヘブ 6:17-19 **同じように神も、ご自分の目的が変わらないことを、約束のものを受ける人たちに一層はつきり示すことにした時、誓いによって保証を与えました**。18 **この2つの不変の事柄(神の約束と誓いのこ**

と)に関して、神は偽ることができません。神のもとに逃れてきた私たちは、その2つの事柄によって大きな励みを得、自分たちの前に置かれた希望をしっかりと持ち続けることができます。19 この希望は、私たちの命のためのいかりであり、確かで揺らぐことがなく、私たちを幕(*)の向こう側に導き入れます) そのような確信があるなら、エホバに仕えることを何よりも優先することができるでしょう。

7. どんな考え方に注意する必要がありますか。

7 伝道を行う時にも強い信仰が必要です。多くの人々は、私たちが新しい世界についての「良い知らせ」を伝えても、それはただの理想だと考えます。(マタ 24:14 そして、王国の良い知らせは、全ての国の人々が聞けるように世界中で伝えられます。それから終わりが来ます。エゼ 33:32 あなたは彼らにとって、弦楽器の巧みな演奏に合わせて美しい声で歌われる、情熱的な愛の歌のようだ。彼らはあなたの言葉を聞くが、誰も行動しない) 私たちは、そうした人たちの考え方に影響されないようにしなければいけません。そのためには、信仰を強める努力を続ける必要があります。では、どんなことができるか、3つの点を考えていきましょう。

贖いについてじっくり考える

8-9. 贖いについてじっくり考えると、信仰はどのように強まりますか。

8 贖いについてじっくり考えるのは良いことです。贖いはエホバの約束が実現すると信じる根拠となるからです。エホバが贖いを与えてくださったのはどうしてか、そのためにどれほどの犠牲を払ったのかについて、じっくり考えましょう。そうするなら、新しい世界でいつまでも暮らせるようにするというエホバの約束がその通りになるという確信を持つことができます。

9 エホバはどれほどの犠牲を払ったのでしょうか。とても大切にしていた独り子イエスを天から遣わして、完全な人間として生まれるようにしました。イエスは地上でいろいろなつらい経験をし、苦しみながら死にました。エホバが本当に大きな犠牲を払ってくださったということが分かります。エホバは、ただ私たちが短い間生活を楽しむために、イエスにこれほどつらい経験をさせたのでしょうか。そんなはずはありません。(ヨハ 3:16 神は、自分の独り子を与えるほどに人類を愛したのです。そのようにして、独り子に信仰を抱く人が皆、滅ばされないで永遠の命を受けられるようにしました。ペテロ 1:18, 19 ご存じのように、父祖たちから受け継がれてきた(*伝統的な)むなしい生き方から皆さんが自由にされた(d*贖われた/買い戻された)のは、銀や金といった朽ちる物によるものではありません。19 傷も汚点もない子羊の血のような貴重な血、つまりキリストの血によるのです) エホバが払ってくださった大きな犠牲について考えると、私たちが新しい世界でいつまでも暮らせるようにしてくださることを確信できます。

エホバの力について思い巡らす

10. エフェソス 3 章 20 節によると、エホバはどんなことを行うことができますか。

10 信仰を強めるために、エホバの力について思い巡らすこともできます。エホバには、全ての約束を実現させる力があります。新しい世界での永遠の命というのは、人間にとっては無理な話に

思えるかもしれません。でも、エホバはこれまでも、人間にはとうてい実現不可能な約束を果たしてきました。エホバは全能者なので、あり得ないと思える約束をするとしても驚くことではありません（ヨブ 42:2 私は今分かりました。あなたは何でも行うことができる方です。あなたが行おうとすることで、あなたに不可能なことはありません マル 10:27 イエスは弟子たちを真つすぐに見て言った。「人には不可能でも、神にとってはそうではありません。神には全てのことが可能なのです」 エフェソス 3:20 神は、ご自分の力を私たちの中で働かせ、私たちのどんな願いや考えをもはるかに超えた事柄を行うことができます。その方が読む

11. エホバは実現不可能に思えるどんな約束を果たしてきましたか。（「実現不可能に思えた約束」の囲みを参照。）

11 エホバはご自分の民のために、不可能に思える約束を幾つも果たしてきました。例えば、①高年齢のアブラハムとサラに、子供を持つことになる約束しました。（創 17:15-17 そして神はアブラハムに言った。「あなたの妻を、もうサライ(if 争いを好む)と呼んではいけない。彼女の名前はサラ(王妃)になるからだ。16 私は彼女を祝福し、彼女によってあなたに男の子を与える。彼女を祝福し、彼女から幾つもの国民が生まれるようにしよう。彼女の子孫から王たちが出る」。17 アブラハムはひれ伏した。そして笑いだし、心の中でこう言った。「100 歳の人に子供が生まれるだろうか。サラが、90 歳にもなる女性が、子供を産むだろうか」）また、②アブラハムの子孫がカナン地方に住むことになる、とも言いました。アブラハムの子孫であるイスラエル人は長い間エジプトで奴隷になっていたので、多くの人は、この約束は実現不可能だと考えたかもしれません。でも、その通りになりました。後の時代には、⑥高年齢のエリサベツに子供が生まれると約束しました。処女のマリアには、神の子を産むことになると言いました。こうして、⑩何千年も前にエデンの園で語られた約束も果たされることになりました。（創 3:15 そして私は、あなたと女の間、またあなたの子孫(d*種)と女の子孫(d*種)の間に敵意を置く。彼(女の子孫のこと)はあなたの頭を砕き、あなたは彼のかかとに傷を負わせる(*を砕く)）

実現不可能に思えた約束

①約束



高年齢のアブラハムとサラに男の子が生まれる。（創 18:14 エホバにとって不可能なことなどあるでしょうか。来年の今ごろ、私はあなたの所にまた来ます。サラには男の子が生まれます）

不可能に思えた理由

サラは子供ができる年齢を過ぎていた。（創 18:11 アブラハムとサラは非常に高齢で、サラはもう子供ができる年齢を過ぎていた）

どのように実現したか

創 21:1, 2 エホバは以前に語った通り、サラに注意を向けた。エホバは約束していたことをサラのために行った。2 それでサラは妊娠し、神が約束していた時に、老齢のアブラハムの子を産んだ。

②約束



アブラハムの子孫がカナン地方に住む。（創 17:8 私は、あなたとあなたの子孫(d*種)に、あなたが外国人として住んでいる土地、つまりカナン全土を与える。そこはずっとあなたたちのものになる。そして私はあなたの子孫の神となる）

不可能に思えた理由

イスラエル人はエジプトで奴隷だった。(出 1:13, 14) そこでエジプト人はイスラエル人を奴隷にして厳しく扱った。14 重労働を課して彼らの生活をつらいものにし、粘土モルタルやれんがを作らせたり、野原でのあらゆる奴隷労働をさせたりした。過酷な環境であらゆる奴隷労働をさせたのである)

どのように実現したか

ヨシュ 11:23 ヨシュアは、エホバがモーセに約束した通り、全土を制圧した。そしてそれをイスラエルに、相続していく土地として部族ごとにそれぞれの分に従って与えた。その土地は平穏で、戦争はなかった。

③約束

ダビデの子孫が永遠に王として治める。(サム二 7:8 私に仕えるダビデにこうい
なさい。『大軍を率いるエホバはこう言っている。「羊の群れを追っていたあなたを、私は牧草
地から取って、私の民イスラエルの指導者にした、16 あなたの王朝と王国はあなたの前で永遠
に安定する。あなたの王座は永遠に揺らぐことがない」

不可能に思えた理由

ゼデキヤが死んだ後、ユダに王はいなくなった。(エレ 52:11 それからゼデキヤを
失明させ、銅の足かせをはめてバビロンに連れていき、死ぬまで牢屋に入れておいた)

どのように実現したか

ルカ 1:32, 33 その子は偉大な者となり、至高者の子と呼ばれます。エホバ神は父ダビデの
王座を彼に与え、33 彼は王としてヤコブの子孫を永久に治めます。その王国に終わりはありません

④約束

イスラエル人がバビロンで70年間捕囚にされた後、エルサレムに戻る。
(エレ 29:10 エホバはこう言う。『バビロンで70年が満了したら、私はあなたたちに注意を向
ける。私の約束を果たし、あなたたちをこの場所に連れ戻す』)

不可能に思えた理由

エルサレムは荒れ果てた場所になっていて、バビロンは捕虜を解放しないこと
で有名だった。(イザ 14:17 大地を荒野のようにし、町々を滅ぼし、囚人を故国に帰ら
せなかった者か)

どのように実現したか

エズ 1:1-3 ペルシャのキュロス王の治世の第1年のことである。かつてエレミヤが語った
エホバの言葉が実現するよう、エホバはキュロス王の心を奮い立たせ、王国全域に布告を出さ
せた。王はその布告を文書に記した。2 「ペルシャのキュロス王の言葉。『天の神エホバは、
地上の全ての王国を私に下さった。そして、ユダのエルサレムにご自分の家を建てよう私に
お命じになった。3 それで、その神の民である人は誰でも、ユダのエルサレムに上っていき、
イスラエルの神である真の神エホバの家を建て直すのがよい。その家はかつてエルサレムにあっ
た(if*その方はエルサレムにいる)のである。神がその人と共におられるよう願っている。』
2:1 以下は州(*管轄地域)の人々で、捕囚にされていた民のうち帰還した人たちである。かつて
バビロンのネブカドネザル王に捕らわれてバビロンへ連れていかれたものの、エルサレムとユ
ダに帰ってきて、それぞれ自分の町に戻ったのである。

⑤約束

アッシリア人がエルサレムを征服することはない。(王二 19:32-34 エホバはアッ
シリアの王についてこう言う。「彼がこの都市に入ることはない。そこに矢を射ることも、盾
を持って立ち向かうことも、攻めるための土塁を築くこともない。33 彼は来た道を帰り、この
都市に入ることはない」。エホバはこうも宣言する。34 「私はこの都市を守って救う。自分の
ため、私に仕えたダビデのためである」)

不可能に思えた理由

アッシリア軍はとても強く、すでにたくさんのユダの町々を占領していた。
(王二 18:13 ヒゼキヤ王の治世の第 14 年には、アッシリアの王セナケリブがユダの防備された町々全てを攻めに来て、占領した)

どのように実現したか

イザ 37:36, 37 それからエホバの天使が出ていき、アッシリア人の陣営で 18 万 5000 人を討った。人々が朝早く起きて見ると、皆、死んでいた。37 それで、アッシリアのセナケリブ王はそこを去り、帰ってニネベにとどまった。



⑥約束

エリサベツに男の子が生まれ、マリアが神の子を産む。(ルカ 1:13 しかし天使は言った。「ゼカリヤ、恐れることはありません。あなたの祈願は聞き入れられたからです。妻のエリサベツは男の子を産みます。その子をヨハネと名付けなさい、31 あなたは妊娠して(*胎内に子を宿して)男の子を産みます。イエスと名付けなさい)

不可能に思えた理由

エリサベツは高齢で、子供ができなかった。マリアは処女だった。
(ルカ 1:18 ゼカリヤは天使に言った。「そのようなことをどうして信じられるのでしょうか。私は年ですし、妻もかなり年を取っています」、34 しかしマリアは天使に言った。「どうしてそのようなことがあるのでしょうか。私は男の人と関係を持ったことはありません」)

どのように実現したか

ルカ 1:57 エリサベツは、出産の時が来て、男の子を産んだ、2:7 そしてマリアは男の子、初めての子を産み、布の帯でくるんで、飼い葉おけに寝かせた。泊まれる部屋がどこにもなかったからである

12. ヨシュア 23 章 14 節とイザヤ 55 章 10, 11 節から、エホバの力についてどんなことが分かりますか。

12 エホバがどんな約束をし、それをどのように果たしてきたかについてよく考えるなら、エホバには新しい世界を実現させる力があるという確信が強まります。(ヨシュア 23:14 皆さん、私はもう長くありません。皆さんがよく(*心を尽くし自分の全てを尽くして)知っている通り、皆さんの神エホバが話した全ての良い約束のうち、果たされなかった言葉は一つもありません。皆さんにとって全てその通りになりました。果たされなかった言葉は一つもありません、イザヤ 55:10, 11 雨や雪は天から降り注ぎ、地を潤し、芽を出させて作物を生じさせ、種をまく人に種を与え、食べる人にパンを与える。それまでは天に戻らない。同じように、11 私の口から出る言葉も、成果を収めずに私のもとに戻ることはない。必ず私の望むこと(*喜ぶこと)を成し遂げ、私が託した使命を確実に果たす。を読む。)そして、新しい世界がただの夢や理想ではないということを上手に伝えられるようになります。エホバは、新しい天と新しい地について語った後、こう言いました。「これらの言葉は信頼でき、真実である」。(啓 21:1 また私は、新しい天と新しい地を見た。以前の天と以前の地は過ぎ去っており、海はもはやない、5)そして、王座に座っている方が、「見なさい！ 私は全てのものを新しくしている」と言い、さらにこう言った。「書きなさい。これらの言葉は信頼でき(*確かで)、真実である」)

エホバとの絆を強めるための活動を十分に行う



13. 集会に出席すると、信仰はどのように強まりますか。（13 節を参照。）

13. 信仰を強める上で、集会はどのように助けとなりますか。

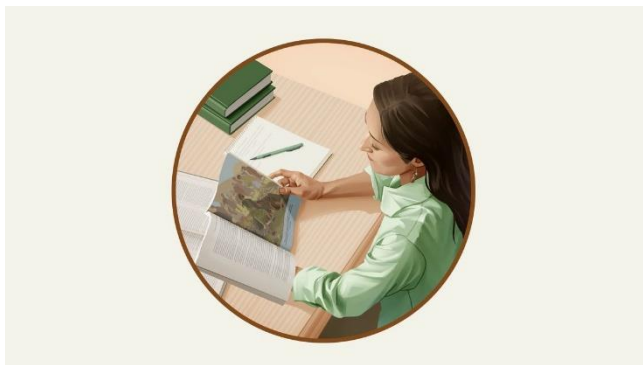
13 エホバとの絆を強めるための活動を行うことによって、信仰を強めることができます。集会はどのように助けとなるのでしょうか。何十年にもわたっていろいろな全時間奉仕を行ってきたアナ姉妹はこう言います。^{*}一部の名前は変えてあります。「集会は、信仰を強めるために欠かせません。話し手がどれほど上手に教えてくれるかや、話される内容が自分にとって新しいものかどうかに関わりなく、聖書の理解を深め、信仰を強めることができます」。兄弟姉妹のコメントを聞くことも、信仰を強める助けになります。（[ロマ 1:11, 12](#) 皆さんに会うことを心から願っています。神からの贈り物を与えて(*神からの能力を用いて)、皆さんを力づけるためです。12 いえ、むしろ、皆さんの信仰と私の信仰によって励まし合うためです;[10:17](#) ですから、信仰は聞いた事柄から生じます。キリストについての言葉を聞いて信仰を持つのです）



14. 伝道を行うと、信仰はどのように強まりますか。（14 節を参照。）

14. 伝道を行うと、どのように信仰が強まりますか。

14 伝道も信仰を強める助けになります。（[へブ 10:23](#) 私たちの希望をしっかりと表明し(*人々に伝え続け)、ふらつかないようにしましょう。約束してくださったのは信頼できる方だからです）70 年以上エホバに仕えてきたバーバラ姉妹はこう言います。「伝道に出ると、本当に信仰が強まります。エホバの素晴らしい約束についてほかの人に語れば語るほど、その約束が必ず実現するという確信も強まってきます」。



個人研究／個人研究を行うと、信仰はどのように強まりますか。（15 節を参照。）

15. 個人研究を行うと、どのように信仰が強まりますか。（挿絵も参照。）

15 個人研究によっても信仰を強めることができます。スーザン姉妹はそのために予定を立てています。こう言います。「私は、日曜日に次の週の『ものみの塔』の予習をし、月曜日と火曜日に週日の集会の準備をしています。そして、そのほかの日には自分で決めたテーマに沿って研究しています」。姉妹はこうした予定をしっかりと守ることによって、信仰を強めることができます。世界本部で何十年も働いてきたアイリーン姉妹は、聖書の預言を調べることが役立つと感じています。こう言います。「エホバの預言が細かなところまでその通りになっていることを考えると、本当にすごいと思います」。*「ものみの塔出版物索引」の「預言」の事項を見ると、聖書の預言についての記事をたくさん見つけることができます。一例として、「ものみの塔」2008 年 1 月 1 日号の「エホバが予告した事柄は実現する」という記事をご覧ください。

「必ずその通りになる」

16. エホバがハバククに語った言葉は私たちにも関係がある、と言えるのはどうしてですか。（[ヘブライ 10:36, 37](#)）

16 兄弟姉妹の中には、この体制が終わるのをずっと待つてきた人たちもいます。人間の観点からすると、エホバの約束がなかなか実現しないように感じるかもしれません。エホバは私たちのそうした気持ちを分かってくさっています。実際、ハバククにこう言いました。「この幻は定められた時のためのもので、終わりに向かって急いでおり、偽りではない。たとえ遅れるとしても、待ち続けよ。必ずその通りになるからである。遅くなることはない！」（[ハバ 2:3](#) この幻は定められた時のためのもので、終わり(*実現)に向かって急いでおり、偽りではない。たとえ遅れるとしても(*遅れているように思えても)、待ち続けよ(*心から待ち望め)。必ずその通りになるからである。遅くなることはない!) この言葉はハバククだけのために語られたのでしょうか。それとも、現代の私たちにも関係がありますか。パウロは聖なる力に導かれてこの言葉を引き合いに出し、新しい世界を待ち望んでいたクリスチャンを励ましました。（[ヘブライ 10:36, 37](#) 皆さんには忍耐が必要です。神の望むことを行ったら、約束されたものを受け取るためです。37 あと「ほんのしばらく」すれば、「来ることになっている方は到着します。遅れることはありません」を読む。）ですから、私たちを救い出すというエホバの約束がなかなか実現しないように思えるとしても、「必ずその通りになる」と確信できます。「遅くなることはない」のです。

17. ある姉妹は、エホバがハバククに語った言葉をどのように自分に当てはめましたか。

17 大勢の兄弟姉妹が、「待ち続けよ」というエホバの勧めに従ってきました。何十年もそうしている人もいます。1939年からエホバに仕えているルイズ姉妹はこう言います。「当時私は、高校を卒業する前にハルマゲドンが来ると思っていました。でも、そうはなりませんでした。私にとって助けになっているのは、エホバからの祝福を得るまで長い間待った人たちの聖書の記録を読むことです。例えば、ノアやアブラハムやヨセフなどです。エホバを待つ姿勢を失わないなら、もうすぐ新しい世界が実現するということに目を向けることができます」。同じように感じている兄弟姉妹は大勢います。

18. 創造物について考えると、新しい世界が実現するという確信はどのように強まりますか。

18 確かに、今はまだ新しい世界は実現していません。でも、エホバがご予定の時に必ず実現してくださると確信できます。私たちが目にしている星や木や動物や人間について考えてみてください。こうしたものは、エホバが創造する前は存在していませんでした。でも、今の私たちにとっては当たり前のもので、存在を疑う人はいません。（創 1:1 初めに、神は天と地を創造した、26, 27 神は言った。「私たちに似た者として人を造ろう。そして人に、海の魚、空を飛ぶ生き物、家畜、地面を動くあらゆる生き物を治めさせ、地球を世話させよう」。27 それから神は人を自分に似た者、神に似た者として創造した。男性と女性を創造した）エホバは、新しい世界をつくると約束しています。その時、誰もが完全に健康になり、幸せな生活をいつまでも楽しむことができます。エホバはこの約束を必ず果たしてくださるのです。（イザ 65:17 私は新しい天と新しい地を創造している。以前の事柄は思い出されることも、心に浮かぶこともない。啓 21:3, 4 その時、王座から大きな声がした。「見なさい！ 神の天幕が人々と共にあり、神は人々と共に住み、人々は神の民となります。神が人々と共にいるようになるのです。4 神は人々の目から全ての涙を拭い去ります。もはや死はなくなり、悲しみも嘆きも苦痛もなくなります。以前のものは過ぎ去ったのです」）

19. 信仰を強めるためにどんなことができますか。

19 エホバの約束が実現するまでの間、信仰を強めるためにできる限りのことを行っていきましょう。① 贖いへの感謝を深め、② エホバの力について思い巡らし、③ エホバとの絆を強めるための活動を十分に行うことが大切です。そうするなら、「信仰と辛抱のゆえに約束のものを受ける」ことができるでしょう。（ヘブ 6:11, 12 私たちは、皆さん一人一人が同じ勤勉さを示し続けて、希望に対する揺るぎない確信を最後まで保ってほしいと思っています。12 怠けたりせず、信仰と辛抱のゆえに約束のものを受ける人たちに倣ってほしいのです。ロマ 5:5 その希望が失望に至ることはありません。私たちに与えられた聖なる力によって、神の愛が心の中に注がれているからです）

信仰を強めるために、以下のことはどのように助けとなりますか

1. 贖いについてじっくり考える。

・S09 とても大切にしていた独り子イエスを天から遣わして、完全な人間として生まれるようにした。イエスは地上でいろいろなつらい経験をし、苦しみながら死んだ。エホバは、ただ私たちが短い間生活を楽しむために、イエスにこれほどつらい経験をさせたはずはない。エホバが払われた大きな犠牲について考えると、私たちが新しい世界でいつまでも暮らせるようにして下さるということを確認できる。

2. エホバの力について思い巡らす。

・S10 エホバには、**全ての約束を実現させる力**がある。**新しい世界での永遠の命**というのは、**人間にとっては無理な話**に思えるかもしれないが、**エホバはこれまでも、人間にはとうてい実現不可能な約束を果たしてきた**。エホバは全能者なので、あり得ないと思える約束をすることとしても驚くことではない。

3. エホバとの絆を強めるための活動を行う。

・S13 **集会**は、信仰を強めるために欠かせない。**聖書の理解を深め**、信仰を強められる。**兄弟姉妹のコメントを聞く**ことも、信仰を強める助けになる。

・S14 **伝道**で、**エホバの素晴らしい約束**について**ほかの人に語れば語るほど**、その約束が必ず実現するという**確信も強まる**。

・S15 **個人研究**の**しっかりした予定**を立ててそれに付き従ったり、**聖書の預言を調べ**その**詳細な成就を確認**したりして、信仰を強めることができる。

[139 番の歌](#) 新しい世界を見つめて

△ 多くの人たちは新しい世界についての聖書の約束を信じていません。「夢みたいな話だ」とか、「ただの理想にすぎない」と思うのかもしれませんが、一方、私たちはエホバの約束が全てその通りになると確信しています。それでも、信仰を強めていく必要があります。そのためにどんなことができるでしょうか。考えてみましょう。

△ 一部の名前は変えてあります。

△ 「ものみの塔出版物索引」の「[預言](#)」の事項を見ると、聖書の預言についての記事をたくさん見つけることができます。一例として、「ものみの塔」2008年1月1日号の「[エホバが予告した事柄は実現する](#)」という記事をご覧ください。

△ [\(民 23:19\)](#) 神は、偽りを語る人間のようにではなく、**考えを変える*人のようでもない**。神は何かを言ったら、それを行うのではないか。語ったら、それを実行するのではないか。

または、「後悔する」。

△ [\(ペテ二 3:13\)](#) しかし、私たちが神の約束によって待ち望んでいる、新しい天と新しい地があります。そこには正しいことが行き渡ります。